

## 天国（あまくに）の宝剣頂戴

この“天国（あまくに）の宝剣”は、歴代の天皇が常に玉座のそばにおいて御守として身を守っていた霊剣ですが、大本山成田山が開山したきっかけでもあります、「平将門の乱」平定の為に、朱雀天皇が寛朝大僧正に、京都高雄山神護寺の不動明王（成田山のご本尊）と共に授けた成田山第一の霊宝です。

この“天国の宝剣”について、「此の宝剣を拝する時は、乱心狂気もたちどころに止み、熱病寒疾も速やかに癒え諸々の魔障を除き、息災成就を得る」と伝えられています。

そんな宝剣、普段は奥殿に秘蔵されていますが、毎年7月の祇園会の3日間とこの御開帳期間の1ヶ月間は、光明堂に安置し、どなたでもこの宝剣でお加持が受けられます。

お参りの際に、お受けになられてはいかがでしょうか。

またこの「**天国宝剣頂戴**」を行っている光明堂の裏手にある、奥之院も御開帳中、開扉されていますので、こちらもぜひお参り下さい。（成田山 HP より）

